

受験番号				

小論文問題 1

次の事例を読み、保育者が行う養護面での配慮と教育的支援について、あなたの考えをまとめなさい。

2歳児（3歳2ヵ月）の女児Aちゃんが、裸足で砂場に行き、初めはシャベルでコップに砂を入れては出すことを楽しんでいました。

保育者が別のコップに砂を入れてグッと押さえ、保育者の手のひらの上にそのコップを逆さにしてできた物をプリンに見立ててみせると、Aちゃんも自分の手のひらの上に、砂を入れたコップを逆さにして型をつくり、すぐに壊しては次をつくる遊びを何度も何度も繰り返している様子です。

引用：全国社会福祉協議会全国保育士会保育の言語化等検討特別委員会（2016）養護と教育が一体となった保育の言語化～保育に対する理解の促進と、さらなる保育の質向上に向けて～．社会福祉法人全国社会福祉協議会全国保育士会．58.

小論文問題 2

平成30年4月1日施行『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』第1章総則「第3 幼保連携型認定こども園として特に配慮すべき事項」では、「家庭や地域において異年齢の子どもと関わる機会が減少していることを踏まえ、満3歳以上の園児については、学級による集団活動とともに、満3歳未満の園児を含む異年齢の園児による活動を、園児の発達の状況にも配慮しつつ適切に組み合わせて設定するなどの工夫をすること」が明記されています。そこで、異年齢保育をする際の工夫にはどのようなものがあるか説明しなさい。

参考：内閣府・文部科学省・厚生労働省（2018）幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説．フレール館．130.

小論文問題 3

グローバル化が進展する中で、外国につながるのある幼児の就園が増加しています。将来、保育現場で実践したい多文化共生保育について、保育者に期待される教育的意義と、そのための保育者としての配慮を800字以内で述べなさい。